

至心

麻生学園小学校だより
平成27年6月30日
第 4 号

トッポをめざせ!

高い学力 豊かな情操

『中学校からの説明会で思うこと』

校長 今村 隆 信

本年度は、福岡県内、佐賀県内の私立の中学校の学校説明会を実施しています。現在まで、久留米大学附設中学校、早稲田佐賀中学校、弘学館中学校、東明館中学校が終わりました。今後、福岡大学附属大濠中学校、西南学院中学校、上智福岡中学校からの学校説明を予定しています。多くの保護者の方にご参加いただきありがとうございます。説明会の後、個別に相談される保護者もおられ、大変うれしく思っております。また、その場に参加する6年生にとっても自分の進路を考える上で参考になっています。この説明会は、本校の「キャリアガイダンス」の一環として、児童一人一人が自分の進路希望を明らかにし、その目標に向かって毎日の生活を充実したものとするよう企画したものです。子どもたちにはより高い目標を持ってもらいたいと考えています。ある中学校の学校案内には、偉大なイタリア・ルネサンス期の芸術家ミケランジェロの言葉が紹介してありました。

「最大の危険は、目標が高すぎて、達成できないことではない。目標が低すぎて、その低い目標を達成してしまうことだ。」と。

また、各中学校の説明の中で、共感すべきことがありました。

- ① 基本的な生活習慣をきちんと身につけること。(毎日の生活リズムの確立)
- ② 日常の学校の授業に集中できること。

両方とも当たり前のことなのですが、学力を高めるための基本ということになります。逆に言えば、早寝・早起き・あいさつ・食事のマナー等が身につけておらず、学校での日々の授業に集中できていなければ、学力は伸びないということなのです。これらは一朝一夕にできるものではありません。学校だけで身につくものでもありません。低学年の時から積み上げが必要となってきます。一人一人の児童が、自分の生活リズムを獲得するために、学校と家庭が協働して実践していかねばなりません。特に、家庭における生活リズムの確立のために、保護者の皆様のご理解とご協力が必要不可欠なのです。学校では、三つの伝統「立ち止まりあいさつ」「静々歩き」「黙々そうじ」の取り組みや「人の嫌がることを言ったり、したりしないこと」「みんなで協力すること」などの、人としての行いができる児童の育成を行っているところです。そして、児童が毎日の授業に集中し、内容を理解できるよう、教員は授業づくりにまい進しています。そのための人的環境も整備してきたところです。児童全員が、進学に対して高い目標を持ち、その目標を達成できるよう支援していきたいと思っています。今年から夏の学習も更に充実するよう計画を立てています。ご期待を。

6月も様々な行事がありました。HPも是非ご覧ください!

♪心に響く歌声づくりを目指して♪

音楽科担当 笹 渕 隆 志

「豊かな情操」を目指す本校では、音楽教育の担うべき役割は非常に大きいと考え、音楽活動(歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞)を工夫しています。中でも、歌唱には特に力を入れており、毎朝、各学級で同じ歌を練習したり、全校みんなが集まる歌声集会では、心と歌声を揃えたり、歌声づくりに取り組んでいます。先日公開しました『歌声集会』では、「川はだれのもの?」(NHKみんなのうたより)の全校合唱をお聴きいただきましたが、子ども達の歌声はいかがでしたか。この歌は、雨のしずくが川となり、森や村を抜け、海へ出る間に魚や人と出会い、川はみんなのものだという内容で、次の二つをポイントにおいて指導しました。まず、一つ目は、「山に降った雨のしずくから川が生まれる」神秘的な様子をどのようにイメージして歌声で表現したらよいかということです。この部分では、しずくが葉を滑り落ちるイメージをもち、壊れやすいしずくを大切に歌うことを学習しました。二つ目は、1番と2番の間奏部分では、ピアノが川のどんな様子を表現しているかということです。子ども達は、歌っていない間も音楽的な繋がりがあり、絶えず流れ続ける川が表現されていることを知りました。どちらも、画像や指揮の表現によって、イメージを共有したり、深めたりしながら、川の様子を歌声で表現することができました。歌曲は、「歌詞」「旋律」「ピアノ伴奏」が一体となって、一つの作品を作り上げています。そのため、演奏する際には、歌詞や音の動き(リズム感・旋律感・強弱感・速度感・音色感など)を手掛かりに作詞家・作曲家の意図を探りつつ、意味づけ(解釈)をしながら、演奏者が思いをのせて表現することが大切で、そこに音楽の楽しみ方が存在します。そのため、歌声に表情をつけ、心に響く歌声づくりを目指しながら日々音楽活動を展開しています。音楽科は、技能教科の一つではありますが、音楽の時間は、優れた演奏家を育てるレッスンの時間ではありません。子ども達が学校を離れてからも音楽活動を続けていくようにするためには、音楽のよさや楽しさを自分で見つける方法を学べるようにする必要があります。技能の機械的な訓練のみを行ったりするのではなく、子ども達自らが音楽のよさや面白さや美しさに気づき、声の出し方や演奏の仕方に興味を深めながら、思いや意図をもって音楽を表現したり、想像力を膨らませながら音楽を聴いたりするなど、子ども達一人一人が感性を豊かに働かせながら主体的に取り組めるような音楽活動を仕組んでいきたいと思っています。みなさんもそれぞれ気に入った音楽を心に持っていらっしゃることでしょう。そして、好きな理由の中に、「リズムがいい」とか「歌声がいい」など音楽的要素が含まれているのではないのでしょうか。子ども達にも潤いのある生活が送れるよう、癒される音楽、元気を増大させる音楽、そんな自分のお気に入りの音楽に出会えることを切に願っています。

7月		行事予定	8月		行事予定
1	水		1	土	自然体験(45年)
2	木		2	日	
3	金		3	月	
4	土	学校説明会 大濠中	4	火	
5	日		5	水	
6	月		6	木	
7	火	ALSOK あんしん教室(135年)	7	金	
8	水		8	土	
9	木		9	日	
10	金		10	月	
11	土	学校説明会 西南学院中	11	火	
12	日		12	水	
13	月	個人懇談(～18日)	13	木	
14	火	縦割りランチ サマーコンサート	14	金	
15	水		15	土	
16	木	人権スポーツ教室(56年)	16	日	
17	金	社会科見学(5年)	17	月	
18	土	学校説明会 上智福岡中	18	火	
19	日		19	水	宿泊学習 夏季講習
20	月	海の日	20	木	宿泊学習 夏季講習
21	火	代表委員会	21	金	宿泊学習 夏季講習
22	水		22	土	
23	木		23	日	模擬テスト会
24	金	大掃除	24	月	
25	土	全校朝会 クラブ	25	火	
26	日		26	水	
27	月	特別学習	27	木	
28	火	特別学習	28	金	
29	水	特別学習	29	土	
30	木	自然体験(1245年)	30	日	
31	金	自然体験(345年)	31	月	

◎お知らせ◎

○特別学習について

期 間 7月27日(月)～7月29日(水)
時 間 9:00～15:15
対象者 個人懇談の時にお知らせします。
6年生は原則全員参加です。
自習希望者も参加可能です。
※ 弁当を持参してください。

○自然体験について

1・2年生・・竜岩自然の家(筑紫野市)7月30日(木)
3 年生・・四阿屋(鳥栖市)7月31日(金)
4・5年生・・国立阿蘇青少年交流の家(熊本県)
7月30日(木)～8月1日(土)
※持参物などは学級だより等でお知らせします。

